

## 開発商品 元気にPR

秋田市内 秋田商高生が販売



店頭販売を行った生徒たち

秋田市の秋田商業高校の生徒が、県産食材を使って考案した2種類のレトルト食品を、市内のスーパーで店頭販売した。元気な声で商品を紹介し、買い物客にPRした。

商品は、今年開発したシチューの「シチューにムチュー」と、昨年商品化したカレーの



秋田商高生が開発した商品。右が新商品の「シチューにムチュー」

シチューは、2、3年生25人が開発に参加。県産サツマイモと潟上市の小玉醸造のみそを使っている。食品ロス削減のため、規格外となったサツマイモを活用したほか、商品の賞味期限を2年とした。カレーは、県産のシイタケと比内地鶏を使っており、2025年度に行われた「第12回全国高等学校フードグランプリ」で「地域貢献賞」などを受賞した。

シチューの発売日の8月27日には、開発に携わった生徒4人が秋田市高陽幸町のいとく新国道店の売り場で商品を

宣伝した。「秋田商業高校です」「サツマイモを使ったシチュー、いかがですか」などと買い物客に声をかけ、商品を勧めていた。

同市の薬剤師、古城祐子さん(67)は「生徒が頑張っているのが買ってみた。簡単に食べられるから早速食べてみます」と話し、商品をかごに入っていた。

秋田商高3年の長岡崇龍さんは「秋田は米どころのイメージが強いが、サツマイモもあることを伝えたい。甘じょっぱく、子どもも好きな味になっている」と語った。

新商品のシチューは、いとく新国道店のほか、JR秋田駅ビル・トピコでも販売している。

(岡根史歩)